

## 敬語表現

今回の学習のポイント

- ① 「敬語」のはたらき
- ② 正しい「敬語表現」を理解する

### 「敬語」のはたらき

立場の違う人や親しみを感じながら同時に尊敬する人などに、その人を大切に思う自分の気持ちを、相手にはっきりわかる形で伝える言葉が「敬語」です。敬語は、その働きによって「尊敬語」、「謙讓語」、「丁寧語」に大きく分類され、それぞれ用いる相手や場面が異なります。

番組で金田一先生は、「尊敬語と謙讓語をごっちゃにすると、困ったことになるんです。」とおっしゃいます。それはどういうことでしょうか。敬語には、話し手が相手や周囲の人との人間関係をどのようにとらえているかということ表現する働きがあります。したがって、話し手の意図にかかわらず、用いた敬語によって、話し手と聞き手の人間関係が会話の中に表れます。また、敬語を用いなければ、敬語を用いたときとは異なる人間関係が表われることとなります。

#### 〈例〉

私が、先生に花をくださった。尊敬語

↓ 敬意は「私」へ。

「私」が高められ、「先生」の立場は低い。(先生 啞然！)

私が、先生に花を差し上げる。謙讓語

↓ 敬意は「先生」へ。

「先生」が高められ、「私」の立場は低い。(先生 笑顔！)

私が、先生に花をやる。基本語

↓ 「先生」にも「私」にも、敬意はない。

「先生」と「私」の立場は対等。(先生 しょんぼり)

敬語は、話し手の意図にかかわらず、人間関係のあり方を表現してしまうものです。敬語を正しく使わないと、無自覚のまま相手に失礼となり、不快な思いをさせてしまうおそれがあります。年上の人、先輩、上司、教えてくれる人など、「上下」の関係が意識されるものであることを前提としたうえで、相手や場面に配慮して敬語を使い分けることができるようにしましょう。

国語監修・執筆

古宮 才由里

ここでは、敬語の用法に基づいて、「尊敬語」、「謙譲語Ⅰ」、「謙譲語Ⅱ」、「丁寧語」、「美化語」の五つに分けて学習します。

■尊敬語

尊敬語は、「相手」を高める敬語で、「相手」の動作に使われます。自分の動作には用いないよう気を付けましょう。

尊敬語	
「いらっしゃる・おっしゃる」型	
相手側や第三者の動作などを高めて述べるもの。	
<p>【特定の語句】</p> <p>いらっしゃる（行く・来る・いる）、おっしゃる（言う）、なさる（する）、召し上がる（食べる・飲む）、くださる（くれる）など。</p> <p>〈練習〉先生 <small>動作をする相手を高める</small> に「どうぞ、どうぞ飲んでください。」とお茶を勧める。</p> <p>答え①</p>	<p>【お（こ）くになる・お（こ）くださる】</p> <p>お持ちになる（持つ）、お召しになる（着る）、ご覧になる（見る）、ご説明になる（説明する）、お読みくださる（読んでくれる）、ご指導くださる（指導してくれる）など。</p> <p>〈練習〉お客様 <small>動作をする相手を高める</small> が、持つ。</p> <p>答え②</p>
<p>【助動詞「れる」「られる」】</p> <p>来られる（来る）、説明される（説明する）など。</p> <p>〈練習〉先生 <small>動作をする相手を高める</small> が来る。</p> <p>答え③</p>	

■謙譲語

謙譲語は、「自分」を低めて、動作の及ぶ相手（動作をされた人）を高める敬語です。「自分側」の動作に用います。相手の動作には用いないよう気を付けましょう。謙譲語は、その性質に基づいて、謙譲語Ⅰ（「伺う・申し上げる」型）と謙譲語Ⅱ（「丁重語」、「参る・申す」型）に分けられます。

謙譲語Ⅰ	
「伺う・申し上げる」型	
自分側の動作などが及ぶ相手を立てて述べるもの。 ※「動作の及ぶ相手」とは、その「動作をされた人」のことです。〈例〉 <small>動作</small> 伺われた人、 <small>動作</small> 申し上げられた人など。	
<p>【特定の語句】</p> <p>伺う（行く・聞く）、申し上げる（言う）、いたす（する）、いただく（食べる・飲む・もらう）、差し上げる（やる）、存じ上げる（知る）、お目にかかる（会う）、拝見する（見る）、拝借する（借りる）など。</p> <p>〈練習〉私が、分からないことを <small>動作の及ぶ相手を高める</small> 教授に聞く。</p> <p>答え④</p>	<p>【お（こ）くする・お（こ）くださる】</p> <p>お持ちする・お持ちいたす（持つ）、ご説明する（説明する）、ご案内する・ご案内いたす（案内する）、お読みいただく（読んでもらう）、ご指導いただく（指導してもらう）、など。</p> <p>〈練習〉私が、講師の先生を案内する。</p> <p>答え⑤</p>

<b>美化語</b>
「お酒・お料理」型
ものごとを美化して述べるもの。
<p>お酒、お料理、お箸、お花、お留守番、お当番、ご挨拶、ご飯、ご本、ご時勢など。</p> <p>※「お」は和語に、「ご」は漢語に用いられます。</p> <p>〈練習〉 食事の前に、<u>取り皿</u>を準備する。</p> <p style="text-align: right;">答え⑩ ( )</p>

<b>丁寧語</b>
「です・ます」型
聞き手・読み手に対して丁寧 <sup>⑨</sup> に述べるもの。
<p>私です(私だ)、時間です(時間だ)、優しいです(優しい)、誠実です(誠実だ) など。</p> <p>行きます(行く)、します(する)、指導してもらいます(指導してもらおう) など。</p> <p>〈練習〉 作文に「友人は明るい<u>性格だ</u>。」と書いた。</p> <p style="text-align: right;">答え⑨ ( )</p>

と美化語(「お酒・お料理」型)があります。

■丁寧語  
丁寧語とは、聞き手・読み手に対する丁寧な気持ちを表すもので、「自分」の動作にも「相手」の動作にも使われます。丁寧語には、「丁寧語(「です・ます」型)と美化語(「お酒・お料理」型)があります。

<b>謙讓語 II (丁寧語)</b>	
「参る・申す」型	
自分側の動作などを、聞き手・読み手に対して丁寧 <sup>⑨</sup> に述べるもの。 (相手を立てるものではない。謙讓語Iと重なるものがある。)	
<p>【お(ご)ういたす】</p> <p>ご説明いたします(説明する)、お持ちいたします(持つ)、ご指導いたします(指導する)、ご案内いたします(案内する) など。</p> <p>〈練習〉 参加者に「<u>それでは、説明します</u>。」と言う。</p> <p style="text-align: right;">答え⑧ ( )</p>	<p>【特定の語句】</p> <p>参る(行く・来る)、申す(言う)、いたす(する) など。</p> <p>〈練習〉 祖父<small>聞き手に丁寧に通じる</small>に「バスが来<small>聞き手に丁寧に通じる</small>ました。」と伝える。</p> <p style="text-align: right;">答え⑥ ( )</p> <p>〈練習〉 初対面の人に「私は、〇〇と<u>言います</u>。」と名乗る。</p> <p style="text-align: right;">答え⑦ ( )</p>



【発展1】

(1) ~ (3) の a, b で敬語の使い方が両方とも正しいものをも一つ選びなさい。

(1) 電車が来る。

- a. 電車が伺います。
- b. 電車が参ります。

(2) 妹が母の実家に行く。

- a. 妹が母の実家に伺います。
- b. 妹が母の実家に参ります。

(3) 私がそちらに行く。

- a. 私がそちらに伺います。
- b. 私がそちらに参ります。

正しい「敬語表現」を理解する

敬語を使って丁寧に話そうという意識が強いほど、誤って使用しがちな敬語があります。「二重敬語」や敬語における「さ入れ言葉」などです。

二重敬語とは、一つの言葉に敬語を重ねて用いたものです。例えば、「おっしゃられる」、「ご覧になられる」が該当します。これらは、尊敬語「おっしゃる」と「ご覧になる」に、それぞれ助動詞「れる」が重なっており、誤った敬語です。また、「さ入れ言葉」とは、「行かさせていただきます」、「やらさせていただきます」のように、不要な「さ」を入れてしまうものです。正しくは、「行かせていただきます」、「やらさせていただきます」です。さらに、「やらさせていただきます」より「させていただきます」のほうが好ましい表現です。

【発展2】

(1) ~ (4) の敬語表現を正しく直しましょう。

(1) おいでになられる。

(2) ご利用になられる。

(3) 使わせていただく。

(4) こちらはオレンジジュースになります。

(1)		( )
(2)		( )
(3)		( )
(4)		( )

まとめ

敬語は、相手の立場を尊重し、大切にしようという気持ちを持つことが基本です。番組で金田一先生は、「敬語というのは、言葉だけじゃないんです。笑い方とか、態度とか、それから、相手に失礼がないように、という表情とか……。」とおっしゃっています。敬意を表すことは、自己表現の一つです。表現して相手に伝えるためには、勇気と実践力が必要です。周りは敬語を使わないとしても自分はおうという勇氣、実際に敬語を使い続ける実践力、それから、失敗してもへこたれない、前向きな姿勢が大切です。使い慣れない人にとって、初めは恥ずかしいことかもしれません。でも、相手を信じて、自分の気持ちにふさわしい敬語を選びながら、少しずつ適切に使っていくようにしましょう。そうしていくうちに、敬語があなたの生活になじんでくるはずです。

① 敬語の基本的な考え方 (1) 敬語の種類 (2) 敬語の使い方 (3) 敬語の進歩  
 ④ 敬語の歴史 (5) 敬語の未来 (6) 敬語の文化 (7) 敬語の国際化 (8) 敬語の地域性 (9) 敬語の個性  
 (10) 敬語の発展 (11) 敬語の衰退 (12) 敬語の復活 (13) 敬語の進化 (14) 敬語の革命 (15) 敬語の創造 (16) 敬語の破壊 (17) 敬語の再生 (18) 敬語の融合 (19) 敬語の分裂 (20) 敬語の統一 (21) 敬語の多元 (22) 敬語の単一 (23) 敬語の多様 (24) 敬語の单一 (25) 敬語の複合 (26) 敬語の単純 (27) 敬語の複雑 (28) 敬語の単純化 (29) 敬語の複雑化 (30) 敬語の単純化と複雑化の同時進行 (31) 敬語の単純化と複雑化の相反進行 (32) 敬語の単純化と複雑化の相補進行 (33) 敬語の単純化と複雑化の相斥進行 (34) 敬語の単純化と複雑化の相乗進行 (35) 敬語の単純化と複雑化の相消進行 (36) 敬語の単純化と複雑化の相成進行 (37) 敬語の単純化と複雑化の相壊進行 (38) 敬語の単純化と複雑化の相生進行 (39) 敬語の単純化と複雑化の相殺進行 (40) 敬語の単純化と複雑化の相安進行 (41) 敬語の単純化と複雑化の相敬進行 (42) 敬語の単純化と複雑化の相愛進行 (43) 敬語の単純化と複雑化の相親進行 (44) 敬語の単純化と複雑化の相和進行 (45) 敬語の単純化と複雑化の相安進行 (46) 敬語の単純化と複雑化の相敬進行 (47) 敬語の単純化と複雑化の相愛進行 (48) 敬語の単純化と複雑化の相親進行 (49) 敬語の単純化と複雑化の相和進行 (50) 敬語の単純化と複雑化の相安進行 (51) 敬語の単純化と複雑化の相敬進行 (52) 敬語の単純化と複雑化の相愛進行 (53) 敬語の単純化と複雑化の相親進行 (54) 敬語の単純化と複雑化の相和進行 (55) 敬語の単純化と複雑化の相安進行 (56) 敬語の単純化と複雑化の相敬進行 (57) 敬語の単純化と複雑化の相愛進行 (58) 敬語の単純化と複雑化の相親進行 (59) 敬語の単純化と複雑化の相和進行 (60) 敬語の単純化と複雑化の相安進行 (61) 敬語の単純化と複雑化の相敬進行 (62) 敬語の単純化と複雑化の相愛進行 (63) 敬語の単純化と複雑化の相親進行 (64) 敬語の単純化と複雑化の相和進行 (65) 敬語の単純化と複雑化の相安進行 (66) 敬語の単純化と複雑化の相敬進行 (67) 敬語の単純化と複雑化の相愛進行 (68) 敬語の単純化と複雑化の相親進行 (69) 敬語の単純化と複雑化の相和進行 (70) 敬語の単純化と複雑化の相安進行 (71) 敬語の単純化と複雑化の相敬進行 (72) 敬語の単純化と複雑化の相愛進行 (73) 敬語の単純化と複雑化の相親進行 (74) 敬語の単純化と複雑化の相和進行 (75) 敬語の単純化と複雑化の相安進行 (76) 敬語の単純化と複雑化の相敬進行 (77) 敬語の単純化と複雑化の相愛進行 (78) 敬語の単純化と複雑化の相親進行 (79) 敬語の単純化と複雑化の相和進行 (80) 敬語の単純化と複雑化の相安進行 (81) 敬語の単純化と複雑化の相敬進行 (82) 敬語の単純化と複雑化の相愛進行 (83) 敬語の単純化と複雑化の相親進行 (84) 敬語の単純化と複雑化の相和進行 (85) 敬語の単純化と複雑化の相安進行 (86) 敬語の単純化と複雑化の相敬進行 (87) 敬語の単純化と複雑化の相愛進行 (88) 敬語の単純化と複雑化の相親進行 (89) 敬語の単純化と複雑化の相和進行 (90) 敬語の単純化と複雑化の相安進行 (91) 敬語の単純化と複雑化の相敬進行 (92) 敬語の単純化と複雑化の相愛進行 (93) 敬語の単純化と複雑化の相親進行 (94) 敬語の単純化と複雑化の相和進行 (95) 敬語の単純化と複雑化の相安進行 (96) 敬語の単純化と複雑化の相敬進行 (97) 敬語の単純化と複雑化の相愛進行 (98) 敬語の単純化と複雑化の相親進行 (99) 敬語の単純化と複雑化の相和進行 (100) 敬語の単純化と複雑化の相安進行

【この授業】  
 【この授業】  
 (1) 敬語の種類 (2) 敬語の使い方 (3) 敬語の進歩  
 (4) 敬語の歴史 (5) 敬語の未来 (6) 敬語の文化 (7) 敬語の国際化 (8) 敬語の地域性 (9) 敬語の個性  
 (10) 敬語の発展 (11) 敬語の衰退 (12) 敬語の復活 (13) 敬語の進化 (14) 敬語の革命 (15) 敬語の創造 (16) 敬語の破壊 (17) 敬語の再生 (18) 敬語の融合 (19) 敬語の分裂 (20) 敬語の統一 (21) 敬語の多元 (22) 敬語の単一 (23) 敬語の多様 (24) 敬語の单一 (25) 敬語の複合 (26) 敬語の単純 (27) 敬語の複雑 (28) 敬語の単純化 (29) 敬語の複雑化 (30) 敬語の単純化と複雑化の同時進行 (31) 敬語の単純化と複雑化の相反進行 (32) 敬語の単純化と複雑化の相補進行 (33) 敬語の単純化と複雑化の相斥進行 (34) 敬語の単純化と複雑化の相乗進行 (35) 敬語の単純化と複雑化の相消進行 (36) 敬語の単純化と複雑化の相成進行 (37) 敬語の単純化と複雑化の相壊進行 (38) 敬語の単純化と複雑化の相生進行 (39) 敬語の単純化と複雑化の相殺進行 (40) 敬語の単純化と複雑化の相安進行 (41) 敬語の単純化と複雑化の相敬進行 (42) 敬語の単純化と複雑化の相愛進行 (43) 敬語の単純化と複雑化の相親進行 (44) 敬語の単純化と複雑化の相和進行 (45) 敬語の単純化と複雑化の相安進行 (46) 敬語の単純化と複雑化の相敬進行 (47) 敬語の単純化と複雑化の相愛進行 (48) 敬語の単純化と複雑化の相親進行 (49) 敬語の単純化と複雑化の相和進行 (50) 敬語の単純化と複雑化の相安進行 (51) 敬語の単純化と複雑化の相敬進行 (52) 敬語の単純化と複雑化の相愛進行 (53) 敬語の単純化と複雑化の相親進行 (54) 敬語の単純化と複雑化の相和進行 (55) 敬語の単純化と複雑化の相安進行 (56) 敬語の単純化と複雑化の相敬進行 (57) 敬語の単純化と複雑化の相愛進行 (58) 敬語の単純化と複雑化の相親進行 (59) 敬語の単純化と複雑化の相和進行 (60) 敬語の単純化と複雑化の相安進行 (61) 敬語の単純化と複雑化の相敬進行 (62) 敬語の単純化と複雑化の相愛進行 (63) 敬語の単純化と複雑化の相親進行 (64) 敬語の単純化と複雑化の相和進行 (65) 敬語の単純化と複雑化の相安進行 (66) 敬語の単純化と複雑化の相敬進行 (67) 敬語の単純化と複雑化の相愛進行 (68) 敬語の単純化と複雑化の相親進行 (69) 敬語の単純化と複雑化の相和進行 (70) 敬語の単純化と複雑化の相安進行 (71) 敬語の単純化と複雑化の相敬進行 (72) 敬語の単純化と複雑化の相愛進行 (73) 敬語の単純化と複雑化の相親進行 (74) 敬語の単純化と複雑化の相和進行 (75) 敬語の単純化と複雑化の相安進行 (76) 敬語の単純化と複雑化の相敬進行 (77) 敬語の単純化と複雑化の相愛進行 (78) 敬語の単純化と複雑化の相親進行 (79) 敬語の単純化と複雑化の相和進行 (80) 敬語の単純化と複雑化の相安進行 (81) 敬語の単純化と複雑化の相敬進行 (82) 敬語の単純化と複雑化の相愛進行 (83) 敬語の単純化と複雑化の相親進行 (84) 敬語の単純化と複雑化の相和進行 (85) 敬語の単純化と複雑化の相安進行 (86) 敬語の単純化と複雑化の相敬進行 (87) 敬語の単純化と複雑化の相愛進行 (88) 敬語の単純化と複雑化の相親進行 (89) 敬語の単純化と複雑化の相和進行 (90) 敬語の単純化と複雑化の相安進行 (91) 敬語の単純化と複雑化の相敬進行 (92) 敬語の単純化と複雑化の相愛進行 (93) 敬語の単純化と複雑化の相親進行 (94) 敬語の単純化と複雑化の相和進行 (95) 敬語の単純化と複雑化の相安進行 (96) 敬語の単純化と複雑化の相敬進行 (97) 敬語の単純化と複雑化の相愛進行 (98) 敬語の単純化と複雑化の相親進行 (99) 敬語の単純化と複雑化の相和進行 (100) 敬語の単純化と複雑化の相安進行